

# THE ROTARY CLUB OF NAGOYA WAGO 名古屋和合 WEEKLY 2760 地区 REPORT

Be a gift to the world

世界へのプレゼントになろう

2015-2016年度 国際ロータリー会長 K. R. "ラビ" ラビンドラン



2015-2016年度

会長:丸山弘昭 幹事:田中正次 クラブ会報委員長:川中有志

創立/1972年3月15日 例会日/水曜日 12:30~13:30

例会場/ウェスティンナゴヤキャッスル 名古屋市西区樋の口町3-19 〒451-8551

事務局/TEL 052-684-6591 FAX 052-684-6592

2016 June 15

■ 2015~2016年度方針

“楽しくそして為になるRCを!!”

NO.43

## 例会報告

●第2131回例会 平成28年6月15日(水) 晴

●6月はロータリー親睦活動月間

●ロータリーソング 手に手つないで

●出席報告 会員 107 名中 出席67名  
(96)

出席率69.79% 修正出席率85.71%  
(6月1日分)

●ゲスト紹介

- ・ゲストスピーカー 未唯さん(ピンクレディー)
- ・インタビュアー 橋本美穂さん
- ・愛知県愛知警察署 西川幸伸署長
- ・愛知県天白警察署 八木俊男署長

●ニコボックス

「本日の卓話はプログラム委員会と出席委員会の協同企画として須賀さんのご紹介でピンクレディーのミィちゃんにきて頂きました。お楽しみ下さい。」

間地 寛君

本日のニコボックス	1件	2,000円
累 計	170件	1,843,000円

## 田中正次幹事報告

▽当クラブ行事予定

- ・6月22日(水) 例会終了後、入会5年未満の方のロータリー情報委員会の勉強会を開催致します。

※入会5年未満の方、ロータリー情報委員会の方はご出席をお願い致します。

- ・6月29日(水) 新旧理事会を開催致します。  
今年度 17時~17時30分  
新年度 17時30分~18時  
懇親会 18時~

場所はか茂免です。

- ・7月20日(水) 納涼夜間例会です。時間は18時~です。場所はウェスティンナゴヤキャッスルです。

※お昼の例会はございません。

## 丸山弘昭会長挨拶

本年度も今月が最終月となりました。1年間「楽しく為になるRCを」という年度方針で運営してまいりました。その中で私は自分なりに「為になるRC」を考えて、田中幹事にはいつも「Too Long」のカードを見せられながら挨拶してまいりました。

そこで今日と来週の2回の挨拶は、現在のところ、私が「なるほど」と気付きをもらい信奉している2人の経営者の話をしたいと思います。

今日は皆様誰もがご存知の、経営の神様と言われる松下幸之助さんです。幸之助さんの語った言葉で私が「なるほど」と思った2つのことをお話します。

第一点は「陽転思考」という考え方です。経営の現場では日々様々なことが起こりますが、事実の一つです。その事実をありのままに受け止め、最善を尽くす努力をすることで活路が開けるとするのが「陽転思考」です。幸之助さんは物事を常に肯定的に捉える「楽観主義者」でいたいと考えていたようです。一般的に言えば「プラス発想をせよ」ということだと思います。幸之助さんの「陽転思考」の一例をご紹介します。幸之助さんは若い頃、大変病弱でしたし、小学校卒業と同時にデッチ奉公に出て、他人の飯を食った末、事業に成功しました。後に「事業にどうして成功したか」を問われた時に①自分が病弱だったこと。体が弱かったので他人にいかにしたら仕事をしてもらえるかをいつも考えた。②自分が小学校しか出ていなかったこと。自分が学問をしてこなかったことで絶えず他人の意見を聞くように努めたことと云ったそうです。

第二点は、「ダム経営」という考えかたです。川にダムをつくり水を貯め、流量を安定させ、渇水に備えるように、経営においても資金や、生産設備、人員等をダムとして貯めることによって、景気の好不況や需要の増

減に左右されない安定的な経営を常に心がけるという話しです。

幸之助さんが中小企業の経営者に「ダム経営」をテーマの講演会を行った際、聴衆の一人が手を挙げ「言われる通りだがそれがなかなか出来ない。どうすればダムが出来るのか」と質問することがありました。幸之助さんはこの質問に一瞬戸惑い、即答できず暫く考えてから「まずダムをつくろうと思わんといけませんなあ」と答えたところ「それでは答えになっていない」と会場の参加者から失笑されたという。ところがその時「なるほどそうだ」と強く感じた人物が会場にました。それが若き日の稲盛和夫さんでした。幸之助さんのその一言が腑に落ち、後に稲盛さんは自分が書いた本の中で、このエピソードを引用し自らの夢・理想を実現する為には「そうありたい」と強く願望しないと何事も成功しないと語っています。会員の皆様の参考になれば幸いです。

## 卓話

### 美と健康、そして行き方について

未唯mie(ピンク・レディー)



ピンク・レディーとしての生活は4年7ヶ月。寝る時間もなく、食事をゆっくりとすることもできず、常に微熱が続き、毎日病気しているような健康とは無縁な状況にいました。若い時は、ある意味勢いで乗り切れるかもしれませんが、歳を取るごとに健康に意識をした生活が必要になってきました。

では、何に気をつけると良いかと言いますと、一番は姿勢であると思います。姿勢は毎日少し気をつけるだけで、大きく変わります。まずは立ち方をやってみましょう。

まっすぐ立って、カガトを上げてつま先だけで立ってください。そして、バランスをとり、少しだけカガトを付け、重心がつま先にあるような形で立ってみてください。これが正しい立ち方です。姿勢が崩れると肩凝りや腰の痛み、さらには内臓疾患など、様々なところに悪影響がでてくるのです。

姿勢を正すということは、健康にとっても大事なことです。経営にも必要なことではないかと思っています。

また、私はボーカリストとして日々トレーニングをしています。なぜならば、ボーカリストは身体全身が楽器みたいなものだからです。

例えば、ギターであれば、木の材質や乾燥度合いによってもその音色が変わります。だから保管状態や日々のメンテナンスが良い音色を奏でる条件となります。ボーカリストも同じで、体調管理とトレーニングで大きく変わります。頭蓋骨で声を鳴らしてみたり、胸や肩、時には胃で鳴らす、肝臓で鳴らす、骨の一個一個で鳴らす

というトレーニングをしています。

姿勢を正しながら、トレーニングを続けた結果、20代のピンク・レディーのころより今の方が健康で体力もあるように感じています。

私は、ピンク・レディー産業の氷山の一角(頂点)にいたわけですが、このビジネスを成功させるために約2000人の方々が関わっていることを聞かされていました。だからどんなに体調が厳しくても、ただひたすらピンク・レディーの活動に取り組んでいました。ピンク・レディーが解散し、ソロになって独立をしましたが、それからいろいろという苦労の連続でした。ただ、あの激動のピンク・レディー時代を乗り越えた自分であるということを見ると「どんなことでも乗り越えられる」と信じて生きてきました。

その中で新しい音楽スタイルやトップクラスのミュージシャンの方々と出会うことができました。8月28日には、吉田次郎さんとのデュオライブを名古屋ブルーノートで行う予定です。ご興味がございましたら、是非お越しください。

本日はありがとうございました。

### ●優良警察官表彰(社会奉仕委員会)

本日、愛知県愛知警察署、天白警察署より優良警察官を当クラブ例会にお招きし表彰を行いました。日頃の苦労に対する感謝状と記念品を丸山弘昭会長より贈られました。

- ・愛知県愛知警察署 吉武 巖 警部補  
高瀬利和 巡査部長  
土井國廣 巡査部長
- ・愛知県天白警察署 小島克巳 巡査部長  
山田哲也 巡査部長  
増田卓也 巡査部長



例会	月日	今後の予定
第2132回	6.22	会員 間地 寛君 「燃費データ問題と今後について」
第2133回	6.29	丸山弘昭会長挨拶 「1年間の振り返り」
第2134回	7.6	高木一平新会長挨拶

○このウィクリーは再生紙を使用しております。